



# ALPA Japan NEWS

## 日乗連ニュース

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

DG 委員会

〒144-0043

東京都大田区羽田 5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

www.alpajapan.org

Date 2016.9.12

No. 40-03

## 東京で IFALPA DG Committee が開催されます！

ALPA Japan DG 委員会では、リチウムバッテリーに関するトピックスを中心に、航空機輸送に関わる危険物輸送（Dangerous Goods : DG）について、情報を逐次、皆様にお知らせしていますが、今回は東京で開催される IFALPA DG Committee についてお知らせします。

日本開催初となる IFALPA DG Committee は、2016年9月17日～19日の3日間、東京都内の会議場で開催されます。参加者は、米州、欧州、中東、アフリカ、そしてアジア太平洋といった世界各地から、更にはエアバス、ボーイングといった航空機メーカーもオブザーバーとして出席する予定です。3日間の会議期間中、ICAO や IATA、IAEA（国際原子力機関）、その他産業団体など、DG に関する様々な会議体に出席したメンバーから報告を聞き、世界的な傾向をレビューします。また、この会議は、航空機の安全運航を維持向上させるため、パイロットの立場から DG に関する意見をまとめ、それらの会議体に「パイロットの声」を発信していくための重要な討論の場となっています。

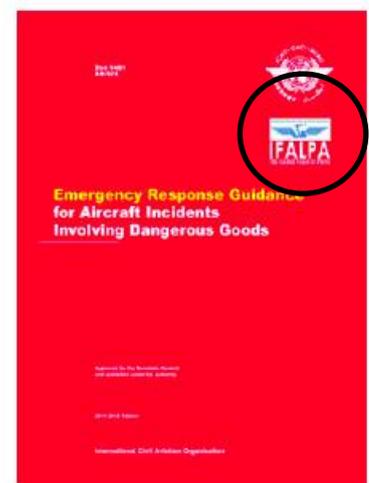
ここ数回の DG Committee には、航空機メーカーのオブザーブ参加が継続して行われていますが、これは近年、バッテリーの航空機輸送が徐々に禁止となっていく傾向にあり、メーカーとして対策を講じる必要があることを受けて、パイロットの声をモニターしようというものです。航空機メーカーにとってパイロットの声は非常に重要で、こうした IFALPA の Committee に出席することで情報収集を活発に行っています。

航空機における危険物輸送の対策は、パイロットにとってなかなか肌で感じることの少ない分野の一つとも言えます。しかし、航空機の安全運航には必要不可欠な分野であり、現場のパイロットがこういう会合にも参加し活動しているということを知って頂ければ幸いです。

<最後に>

以前にもお伝えしましたが、国際線を運航する航空機には必ず操縦席に搭載されることが義務づけられている、通称「RED BOOK」をご存知ですか？ 航空機において危険物輸送品が搭載されると、機長は「危険物運送通知書」に署名しますが、その通知書に記載されている国連番号は、すべてこの「RED BOOK」に明記されています。それによって、搭載物がどの国連番号に基づいて輸送されるかが判別出来るのです。実は、発行元である ICAO の「RED BOOK」表紙に、IFALPA のロゴが明記されていますが、ご存知ですか？ これこそが、危険物輸送に関して IFALPA の果たしている役割が非常に大きい、ということの証なのです。せっかくだから、この機会に一度「RED BOOK」を閲覧されてみてはいかがでしょうか？

ここです！



以上